

2021年度（令和3年度）

福山市教育委員会会議録（第9回）

【11月12日（金）開催】

福山市教育委員会

福山市教育委員会会議録（第9回）

1 招集年月日 2021年（令和3年）11月12日（金）
午後2時00分

2 場 所 教育委員室

3 出席委員 5名

出席又は欠席	席番	名 前
出 席	1	三 好 雅 章
出 席	2	菅 田 章 代
出 席	3	金 仁 洙
出 席	4	横 藤 田 晋
出 席	5	小 丸 輝 子

4 会議に出席した事務局職員

教育次長	佐 藤 元 彦
管理部長	藤 井 紀 子
学校教育部長	井 上 博 貴
教育総務課長	久 保 正 敬
施設課長	小 森 満 生
学校再編推進室長	來 山 浩一郎
学校再編推進室主幹	井 上 誠 之
中央図書館長	新 延 智 子
学事課長	亀 山 貴 治
学びづくり課長	本 宮 政 尚
学校保健課長	原 明 信
福山中・高事務長	前 田 満
文化振興課主幹	内 田 実
保育指導課長	藤 原 里 美
人権・生涯学習課長	高 橋 雅 和

5 会議の書記

教育総務課総務政策担当次長	須 藤 誠
教育総務課職員	中 村 千 咲
教育総務課職員	岡 田 真 奈

【開会時刻 午後2時00分】

- 三好教育長 | それでは、ただいまから、2021年度（令和3年度）第9回福山市教育委員会会議を開会いたします。
このたび、神原多恵委員が、10月24日をもちまして退任され、新たに小丸輝子委員が就任されました。
小丸委員、一言御挨拶をお願いします。
- 小丸委員 | 小丸でございます。よろしくお願いいたします。教育委員を任命されました。何もわからないと言ったら無責任になります。一生懸命勉強させていただきたいと思います。わからないことがあったらまたお尋ねしたいと思います。よろしくお願いいたします。
- 三好教育長 | ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。
それでは、本日の日程に入らせていただきます。
本日の議案ですが、議第55号は人事案件のため、協議事項は意思決定過程の案件のため、福山市教育委員会会議規則第13条第1項の規定により秘密会として審議し、審議の順番は公開する案件の後としたいと考えます。
また、議第55号は教職員の人事案件のため、最後に関係者のみで行いたいと考えますが、御異議はございませんか。
- 全教育委員 | （異議なし）
- 三好教育長 | 御異議なしということで、これらの案件は秘密会とし、その他の案件は公開といたします。
では、まず初めに、日程第1 教育委員会会議録の承認についてです。
2021年（令和3年）10月18日開催の第8回の教育委員会会議録について、何かございますか。
- 全教育委員 | （異議なし）
- 三好教育長 | 御異議ないようですので、教育委員会会議録を承認することとし、会議終了後、委員の皆さまの署名をお願いいたします。
次に、日程第2 教育長の報告についてです。
資料の1ページをお願いいたします。
リモートや直接学校へ行っての学校元気大賞の表彰を行っています。その時に合わせて各学校の子どもたちや教員の現在の状況を見ています。10月、11月は、全体的にそのように動いていました。10月26日に広島県都市教育長会秋の総会をWebで行いました。テーマはGIGAスクール構想の取組状況、それから働き方改革について各都市の意見交換を行いました。
以上です。
このことについて、何か御意見、御質問はありませんか。
- 全教育委員 | （なし）
- 三好教育長 | それでは、これより秘密会とします。
傍聴人は退席してください。

（傍聴人 退席）

三好教育長 予定しておりました議案は全て審議いたしました。他に何か、ありませんでしょうか。

横藤田委員 私の前任の委員、柿原前委員からのメッセージなんです。今日、中国新聞で、熊野小学校の災害の跡地を、大学の教員と見学し、これについて非常に柿原前委員がすごく関心を持たれていまして、こういう地域の災害遺跡を見て回るとというのが、非常に大事なことでないかという話でした。企業においてもそうですが、BCPという考え方すごく広まっています、これがBusiness Continuity Planだから、学校だと、Schoolで、SCPになるんですかね。

そういうことで、過去に災害があった場所を実際に見て回ると、子どもが、小学校の頃から防災意識をもって育つのではないかと思います。呉の阿賀地区にも、そういう過去の災害遺跡があって、子どもたちが見学していると、気を付けるようになるのかなと思いました。

福山市の街中の小学校では、そういう遺跡はないでしょうが、そういう防災、災害遺跡は色んな地域にあると思います。そんな場所を見て回るといようなプログラムを教育に組み込んでどうかというメッセージでした。

それと、この第三次福山市教育振興基本計画の中に、6ページの真ん中あたりの「主な取組」の中で、「新たな学校の教育内容の充実」とあり、「地域の自然、歴史」と記載されていますよね。この中で、そういう災害の歴史というものを組み込んでいただけたらどうかと思いました。

金委員 そういうのを入れるのは可能なんですか。

三好教育長 可能です。

金委員 そうですね。もっとガチガチに固まっていて、指導要領とかに沿ってやらないといけないとか、そういうイメージでしたが。時間的な配分とか、そういう問題だけなら、ぜひとも考慮していただきたいですね。

三好教育長 想青学園のカリキュラムを、今、作っていますが、まさにその地域的な部分をたくさん盛り込んでいます。

横藤田委員 横の展開をされたらどうかという話でした。

それと、先ほどもお話ししましたが、最近、教員の精神的疾患による辞職が非常に多いという状況にあります。この教育振興基本計画の8ページの教職員の部分で、前にも申し上げた、教員の相談にのってあげるような窓口の新設とか、そういったことが何かできないものかと思っています。悩みを抱えて、校長や教頭、同僚にも相談できずに追い詰められて辞職という事態になっているのではないかと思います。

そういう相談窓口、駆け込み寺のようなものがあつたらいいのではないかと思います。

若い先生も年配の先生でも、事情はそれぞれあるんだと思いますが、続きますよね。最近よく大手企業なんかはそういう駆け込み寺のような、外部の精神科の嘱託員がいて、そこに何でも相談できるというような窓口を作っている場合が多いんです。

福山市もこれだけ教職員が相当人数いるわけですから、そういうものがあつてもいいのではと思います。

菅田委員	学校カウンセラーの先生とかは、先生は対象になっていないんですか。
金委員	労働者だったら産業医とかになるんじゃないですか。
三好教育長	そういう制度そのものはあるんですが、そこに相談に行くか、相談しやすいかという、もっと身近なものになっているかという、ちょっとわかりませんね。
金委員	産業医の活用というのはされていないんですか。
亀山学事課長	<p>いわゆるストレスチェックというものを全職員行っています。その度合いによって、共済病院とかでカウンセリングしたり、いつでも相談しているというような制度自体はあります。そういう病院関係の仕組みを紹介はしているんですが、ただ、実際そこに行くと、実際に病院にかかったというケースはありますが、病院から教育委員会の方へ連絡を受けるようなケースは、年間数件程度です。</p> <p>受け皿はあるんですが、そこを使う頻度というのは大変少ない状況にあると思います。</p> <p>学校に、スクールカウンセラーが週に1回来ていますが、予約をしていれば教員も利用することができます。校長が、「第三者に話をしてみるか」と話をし、相談につながることもあります。ただ、それが頻繁に行われているのか、いわゆる敷居が高い、手が届くかというところは、各学校や雰囲気によって差が出てくる場所ではあると思います。</p>
三好教育長	<p>初任者には、拠点校に指導教員という、指導担当専門の人がいます。その人たちが授業を見て、色んなことを話しています。</p> <p>だから、初任者が辞めるということは、突然というより、授業が厳しいという話を聞いたり、もっとこうしたらいいんじゃないかという話をしたり、そういうやり取りは、色んな立場の人としています。ただ、そこでなかなかカバーしきれていないということもありますし、本人が、子どもとの人間関係がなかなかできないとか、よくがんばっていて、校長や周りも評価していても、自分の思っていた仕事と違って、自分は全然できないとか、自分みたいなのが先生だったら子どもが可哀想だとか、そういった思いを持っているという話も聞きました。</p> <p>初任者に関していえば、誰もカバーできない、知らなくて一人で抱え込んでしまうケース、どこまで深いところまで話することができるかという部分もあると思いますが、こうしたところが、結果としてフォローできていないところ、不十分なところがあると思います。</p> <p>窓口、駆け込み寺では、日常的に駆け込むことができるようにしたり、一緒に授業をしたり、いろんな場面で話をしたりというようなことはやっていますが、初任者だけでなく、年数が長い方なんかは、なかなか若い人のように言えなくて、吐き出すことが難しいということがあるかもしれません。</p>
井上学校教育部長	年に2、3回ある教職員アンケートの中でも、周りに相談できる人がいますかという質問をしています。そのアンケートによると、否定的な回答をしているのが大体5パーセントぐらいです。そういった人たちがどうやったら相談できるようになるかということを経理とも話をしています。
三好教育長	金委員が言われた働き方のところで、少し違うかもしれませんが、教員のこういう状況で、「学び続ける」というところが難しいというのは分か

ります。だから、改めてこの1ページに書いてあること、メッセージがどう届いているのか、見えるのかということも含めて、もう一度考えてみます。

部分修正、言葉を変えるというのは必要だと思うんですが、もう少し教員が元気になれるよう、もっとやりたいと思えるよう、色んな条件、環境がある中で何ができるのか、改めて考える必要があると思います。

本気でやる気はあるんですが、なかなか表現できていません。申し訳ありません。

横藤田委員

最近一般企業で増えてきている、「健康経営宣言」というのをやっています。これが、社員全員にアンケート調査を70項目ぐらいしてもらいます。それを自動分析して、その会社の中でちょっと心が、精神的に病んでいるという人が何パーセントいますというのが出るようです。それを始めた時点よりも、社長自らが社員の健康を気遣って策をどんどん取って行って、1年でどれぐらい改善したかというのを追跡していくような取組を各企業も始めています。

佐藤教育次長

ストレスチェックで、色んな項目を点数化してみるという取組はしています。

横藤田委員

経営者も社員の方から色々出てきたことで、このままじゃいけないと気づき、健康な心身があってこそ仕事ができることで、だれも反対しないし、だれも嫌なことではないので、そういう考え方が広まってきています。

昔は、少々我慢しろ、がむしゃらに仕事しろみたいな風潮がありましたけど、最近はそのようなのはなくなってきていますね。

聞いた話ですけど、三原の八天堂という会社がありますよね。あそこがすごくそういったことを進められていて、その方の講演を聞いた時に、業績も伸びたという話だったんです。

だから、無理に働け働けていうより、しっかり休むようにした方が、かえって生産性が上がったり、ミスが減ったりという話でした。

菅田委員

次の、先生になりたい子どもたちも、やっぱり先生の働き方を見ていくと思うので、すごく大きなメッセージになると思います。

横藤田委員

教員の志望倍率、小学校が2倍を切ったんですかね。昔は5倍、もっとありましたよね。そんな狭き門だったのが、今ハードルが低くなったというのは、そういう働き方の環境の悪化ということもあるんですかね。

競争率だけの問題じゃないですけど、みんながあこがれるような職場にならないと、質が低下しますし。

三好教育長

ありがとうございました。他にいかがですか。

全教育委員

(なし)

三好教育長

ないようですので、本日の教育委員会会議はこれで終わります。

【閉会時刻 午後4時】